

国際ロータリー 第 2500 地区 第3分區

Asahikawa Morning Rotary Club

旭川モーニングロータリークラブ 会報



ホームページ <http://www.asahikawamrc.com/>

2015~2016年度(第23期) 会長：高見 一典 幹事：宮永 憲一

9月の月間テーマ **基本的教育と識字率向上月間**

第 1050回 例会 No.09

平成27年 9月 10日 (木) AM7:30~8:30

場所 ロワジュールホテル旭川 15F シャルム

本日の例会プログラム

ゲストスピーチ

時間 スケジュール

受付



今朝の15Fシャルムからの旭川市内



受付・左から林事務局・坂本・飯塚・嵯城・今井会員
妹尾 佳晴 会場監督



morning coffee ・左から小川・桑原・小柳会員

7:30 開会宣言
点 鐘



” 只今より旭川モーニングロータリークラブ
第1050回例会を開催致します。”

” 高見一典会長 点鐘をお願い致します。”



高見一典会長点鐘

7:31 ロータリー
ソング

♪我等の生業♪



我等の生業

一、我等の生業さまざまなれど
集いて回る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
お、ロータリアン
我等の集い

二、奉仕に集える我等は望む
正しき道に果をとるを
人の世奉りて光を浴びつ
力を協せて争むむを
お、ロータリアン
我等の集い

7:33 四つのテスト
唱和

7:35 ゲスト紹介

本日のゲストを紹介させて
頂きます。
小池語朗旭川市教育委員
会教育委員長さまです。
後程ゲストスピーチを頂
きます。






”四つのテスト”第九回例会
は木村和哉会員です。
木村会員お願い致します。



四つのテスト

諸君はこれに類らしてから

- 1 真実か どうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるか どうか

時間	スケジュール	
7:36	会長挨拶	<p>高見一典会長</p>  <p>おはようございます。先ほどゲスト紹介させていただきましたが、国際ロータリーでの9月月間タイトルは基本的教育と識字率向上ですので、今日のゲストスピーチでは現旭川市教育長の小池語郎氏をお招きし、本市の教育についてご講演を頂きます。先般、5日（土）6日（日）の両日にシスタークラブであります青森モーニングロータリークラブ会員の鈴木唯司会員が青森県第2830地区ガバナーに就任され、地区大会参加のご案内を頂きましたので参加させて頂きました。他地区の地区大会へ参加するのは今回初めてでしたが、大変勉強になったことと鈴木地区ガバナー並びに石倉青森MRC会長には心温まるおもてなしの数々を頂きました。旭川の皆様にも宜しくお伝え下さいとのことでご報告をさせて頂き、今日の挨拶とさせて頂きます。</p>
7:38	会務報告	<p>小川伸治副幹事</p> <p>本日は宮永幹事欠席の為副幹事の私、小川が代役を務めさせていただきます。不慣れですが宜しくお願い致します。</p> <p>会務報告。</p> <p>1) 一般社団法人ロータリーの友事務所より、「ロータリーの友」英語版 注文書 收受。 年1回 11月発行 1冊 = 500円+消費税(送料込) *ご希望の方は、お名前をご記入ください。 お名前 ①</p> <p>2) 国際ロータリー第2510地区札幌モーニングロータリークラブより、 会報No.1279~1281 收受。</p> <p>3) 日本国際飢餓対策機構より、国際協力カレンダー「地球家族」2016年版並びに飢餓対策ニュースNo.302 收受。 * カレンダーは購入申込みもできます(詳細は別紙参照)</p> 
7:40	誕生祝 記念品贈呈	<p>竹村陽子親睦委員長</p>  <p>9月のお誕生会員は 木村和哉会員 9月18日生 佐藤克司会員 9月26日生</p> <p>”心よりおめでとうございます!”</p>  <p>♪ Happy Birthday to You ♪</p>
7:43	川柳大賞 賞品贈呈	<p>第2回 8月の川柳最優秀賞</p> <p>最優秀賞『出張中 川柳作りに 悩まされ』 大久保昌宣会員 優秀賞 『言い訳を ボケとトボケで 使い分け』 福居恵美子会員 優秀賞 『訪ねゆく 楽しさの 直売所』 飯塚達夫 会員</p>  <p>優秀賞賞品贈呈</p>  <p>賞品其の3</p>
7:45	食事と 懇談	 <p>15階 シャルムにての朝食と懇談</p>

7:50 食事と
懇談



朝食 menu



15階 シャルムにての朝食と懇談

8:00 ゲスト
スピーチ

旭川市教育委員会 小池語朗教育長
市教委の今日的課題

① 学力向上 学力向上、いじめ、適正配置計画、給食提供システム・小中連携・一貫教育

現状旭川を含む上川は、14支庁管内でトップレベル。他管内も努力。差が縮小安閑とはしてられない。学校は校長、教頭の供給源。3校18年以上の教員は市外異動。結果として有能な教員が不足。学校別に分析・保護・要保護・片親世帯の多い学校は家庭教育に課題。スマートホン、ゲーム、不規則な生活。EX 算数 分数の加減乗除3・4年、ここで頭けばアウト。今後行政としては家庭教育の定着を地道に訴える。学校内でできることを確実に推進。放課後の補充 長期休業中の補充 少人数教育、1・2年生の30人以下学級。3・4年生の35人以下学級の推進。教員が児童生徒と向き合う時間の確保・丁寧な授業・自ら考え判断する能力の育成。

② いじめ・不登校

いじめ H26 小学校・5件 中学校・14件。いずれも解決済み。多いのは冷やかし、からかい悪口、仲間はずれが圧倒的。中学校ではパソコン、携帯での誹謗中傷。学校内での把握・指導は発見次第対応。学校外でのパソコン等のICTは把握がしづらい。陰湿にもなっている。学校・家庭とも微妙な変化に気づくことが必要。不登校では病気の他は不安など情緒的混乱(家庭内含む)、無気力、あそび・非行が圧倒的。特に小学校6年15名であったものが中学校1年では31名に倍増。中学2年・64名 3年・74名 大阪の男女中学生が殺された事件・痛ましい。なぜ朝の3時・4時に外出・不思議。家庭教育の問題もあるのではないか。

③ 適正配置計画

現在パブリックコメントの実施中

小学校 55校を13校減の42校(嵐山、江丹別小含む)

中学校 27校を4校減の23校(嵐山、江丹別中含む)

児童生徒数の推移

ピーク時	小学校	34,477名	(昭和56年)
	中学校	17,571名	(昭和62年)
現在	小学校	14,975名	(43%)
	中学校	7,874名	(44%)

中央中 3校統合しても全学年でも400名を切る

私は北都中出身 当時1学年で600人。学校は地域コミュニティの拠点。できればなくしたくない。特に小学校は身近にある方がよい。しかし1学年1~2名、欠学年がある現状。さすがに放置できない。現行では部活にも支障。

教員の配置に限界(免外授業等)。適正規模のもと集団生活の中で切磋琢磨。

統廃合は一朝一夕にはできない。地域との十分な協議理解の元で時間をかけて実施。併せて校区の整理、老朽化・校舎の建替え。今後ミニセンターを6カ所(5,000食程度)。理由 老朽化、狭隘施設の早期解消、衛生水準の向上。効率的運営(30分以内の配送)。独自メニュー。地産地消。

盛り沢山の課題がある。

総合教育会議 教育委員会だけでなく市長ともども旭川の未来を担う児童生徒の生きる力(確かな学力、豊かな心、健やかな身体)を育成するため全力を傾注。



8:20 3分間
スピーチ

木村和哉会員 健康寿命について



入院したり介護を受けたりせずに、日常生活を過ごすことができる期間を示した「健康寿命」は、平成22年で、男性は70.42歳、女性は73.62歳となりました。平均寿命との差は、男性で9.13年、女性で12.68年。この「不健康な期間」は、2001年と比較すると男女とも約0.4年拡大し、「平均寿命」と「健康寿命」の差は、高齢者が健康上の何らかの問題で日常生活が制限されている期間を意味しています。平均寿命が延びる一方で、がんや糖尿病といった日常の支障をもたらす病気を抱えたままの生活を余儀なくされる高齢者が増えており、健康でいられる期間は平均寿命に十分には追いついていないようです。

とあるアンケートで、健康に対する不安の有無をたずねたところ、全体の61.1%が「不安がある」と回答。しかし、「食生活に気をつけていない」と回答した人は31.2%に上り、健康を維持する具体的な行動には結び付いていないことがうかがえます。

また、白書では死生観について質問した。「何歳まで生きたいか」という質問には、男性は平均80.9歳、女性は78.36歳と回答。さらに「自分自身の最期をどこで迎えたいか」という質問には、49.5%が「自宅」と回答したが、実際に亡くなる場所は「病院・診療所」が80.3%を占め、理想と現実ギャップがあることが浮き彫りとなった。そして若い世代では「幸福」を自覚している割合は低い。皆さんはどうですか？若い世代では自分が「幸福」と思っている割合は高齢者に比べ低い——。厚生労働省が20~80代の男女を対象にした健康意識に関する調査で、こんな傾向が明らかになった。調査は、今年2月に厚生労働省が、全国の20~80代の男女5000人を対象にからインターネットでおこなったものです。自分がどの程度幸せかを10点満点で尋ねたところ、平均は6.38点だった。世代別では、65歳以上は6.92点だったのに対し、40~64歳は6.25点、20~39歳は6.03点と若い世代ほど低くなった。性別でも差があり、女性全体の6.62点に対し、男性全体は6.12点でした。厚生労働省は「仕事上のストレスが現役世代の幸福度を押し下げている」と分析している。不安や悩みの内容についての質問（複数回答）では、20~64歳の現役世代の男性は「仕事上のこと」に悩む割合が約半数に上った。「職場の人付き合い」で悩んでいる人も3割程度おり、いずれも男性で高かった。仕事や職場の人付き合いに悩みを抱える人の「幸福度」は平均5.79点と、仕事の悩みを抱えていない人の6.59点より低かったようです。私は、自分の寿命を25年後に設定しています。なぜなら、両親ともに60代で亡くなっているからです。逆算の方式で、今なにができるか、小さな事で悩んでいないか、お金を残さず使っているか等々考えています。仕事柄相続についても考えさせられています。幸福度ってなんだろう？更には、いろんな意味での引き際というものも考えております。皆さんも今日木村がしゃべった事をなんとなく思い出していただいたら幸いです。

8:23 ニコニコ
ボックス

今井孔太親睦委員



高見一典会長 : 小池教育長様今日はゲストスピーチ誠にありがとうございました。
 桑原義彦会員 : 今朝例会・皆さんが私方を見ているのでなぜかな？と思いましたがモーニングロータリー会員有名人がロータリーの友に記載されていました。素晴らしい。ありがとうございます。
 石川千賀男会員 : モーニングロータリーゴルフコンペでようやくニコニコを出すことができました。おかげ様で優勝です。

平成27年9月10日現在累計金額 金 110,500 円

8:25 出席報告

桑原義彦クラブ例会運営委員長



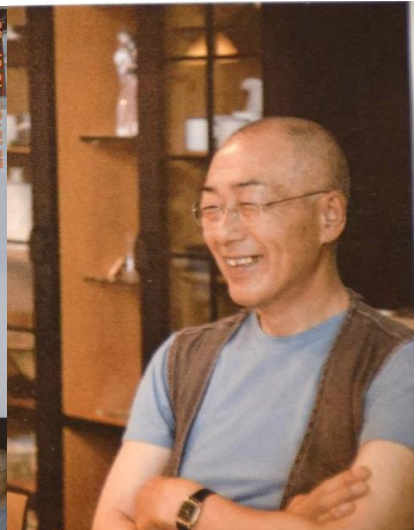
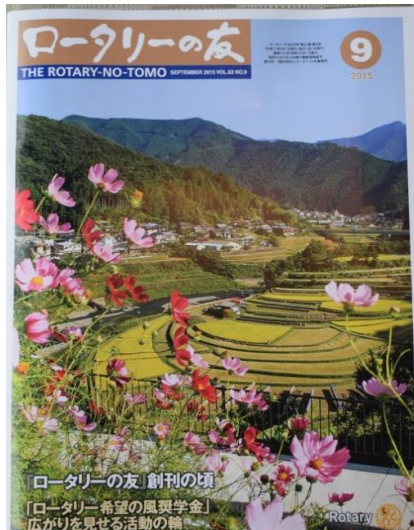
本日の出席	第1050 回例会	総員 28名
	9月10日	出席 22名
	出席率	78.57%
修正出席	第1048 回例会	総員 28名
	8月27日	出席 25名
	出席率	89.29%
今年度(23期)実績平均出席率(8月27日迄)7回		92.85%

- *メイクアップ
- 9月4日 宮永憲一・木村和哉(地区ライラセミナー)(敬称略)
 - 9月5日 高見一典(2830地区大会「青森」)
 - 9月8日 小野寺康充(旭川空港)
 - 9月9日 井上雄樹・今井孔太・竹澤元男(旭川北)

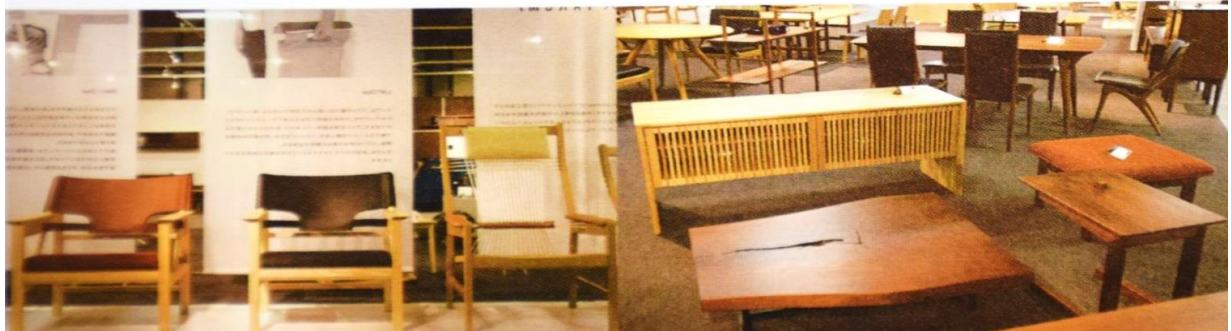
8:30 点 鐘

高見会長 終礼点鐘お願い致します。

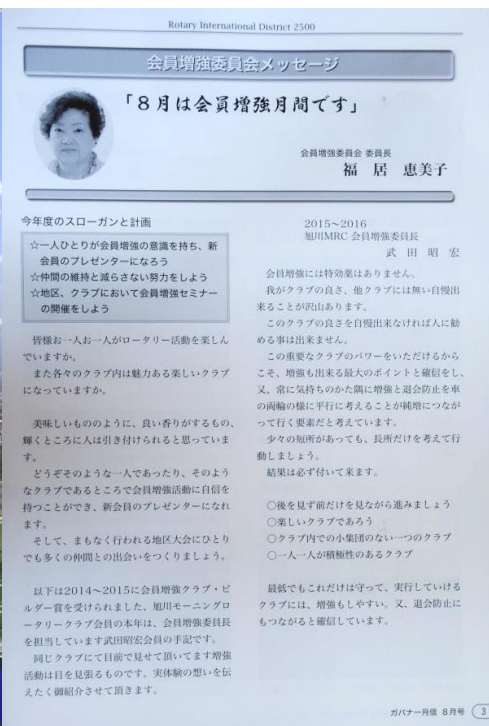
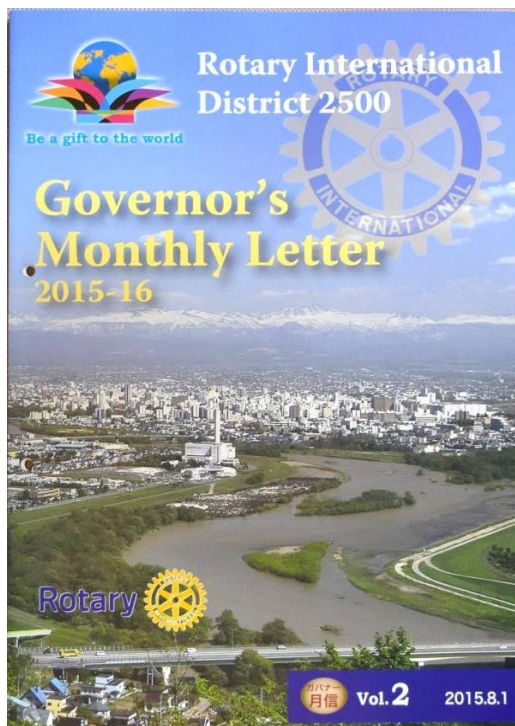




北海道産のナラ、タモ、カバ、クルミなどでつくられる旭川の家具。桑原義彦さんはその業界の中心メンバーの一人だ (撮影協力 旭川家具センター)



ロータリーの友9月号 (P65) 「わがまち・・・そしてロータリー」に桑原義彦会員の記事が掲載されました。



ガバナー月信 8月号 Vol. 2 福居恵美子会員増強委員会 委員長 (武田昭宏会員増強委員長) の記事が掲載されました。

広報委員会 : 佐々木 靖文 (長) 脇坂 慎一 笹川 和廣